

まちの話題

身近に棲む水生生物を観察

8月4日、3年前から減・無農薬と特殊な水の管理で環境にやさしい米づくり「コウノトリ育む農法」に取り組んでいる宮垣区の田んぼと大屋川で、「田んぼ・川の生き物調査」（宮垣区農地・水・環境保全隊主催）が行われ、宮垣区子ども会の20人が参加しました。

はじめに、減農薬栽培をしている水田で、講師の八鹿農業改良普及センター職員が捕まえたイトミミズやゲンゴロウを観察。大屋川では、良い水質に生息するカワゲラやトビゲラを捕まえました。

また、柳の枝を約3分に編み、体長約5センチのヨシノボリを上流に追い込んで捕まえる伝統漁法にも挑戦しました。

参加した大屋小学校6年の藤岡哲寛さんは「いろいろな虫や魚を捕まえてとても楽しかった」と笑顔で話しました。

「万が一に備えて」大屋地域で防災訓練

阪神・淡路大震災と平成16年台風23号災害などの被災経験と教訓を忘れず、防災意識を高めることを目的とした養父市防災訓練を8月3日、大屋中学校グラウンドで実施しました。

これは、平成17年度から各地域別に実施しているもので、地域住民をはじめ、自衛隊や国土交通省、八鹿病院など約650人が参加しました。

午前9時半に南但馬地域を震源とする震度6強の大地震が発生したことを想定し、避難指示を受けた地域住民と大屋中学校の生徒による避難訓練、

バケツリレーや消火器を使った初期消火訓練、倒壊家屋からの負傷者救出訓練、消防団による放水訓練などが緊張感を持って行われました。

閉会式で梅谷市長は「今回の訓練を生かして、自助、共助の精神で地域の安心と安全を守らなければならぬ」と講評しました。



バケツリレーによる初期消火訓練をする参加者



▶地域の方に教えてもらいながら水生生物を探す子どもたち

JR八鹿駅に「障害者専用乗降地」が設置されました

養父市内の観光地などの玄関口として、特急列車が停車するJR八鹿駅に障害者専用乗降地が設置されました。これは、障害のある方や病弱な方が駅を利用する際に、より安全に乗降できるように設置されたものです。

この乗降地への一般車両の駐車はご遠慮ください。

